

# 看護キャリア開発センター通信 Vol.33



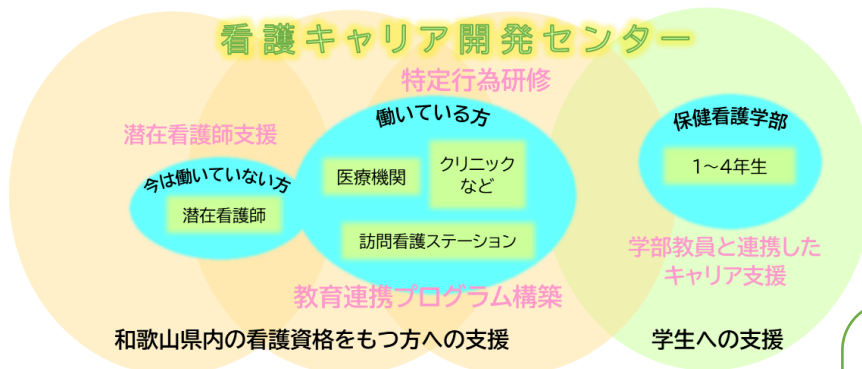
令和3年7月発行

おらせ

令和3年度より、看護キャリア開発センターの事業内容が変わりました

これに伴い、キャリア支援の対象者を和歌山県内の看護師、保健看護学部学生としています。看護のキャリアを歩む方のキャリア開発を支援する活動をおこなっています。事業内容の詳細は以下の概念図の通りです。

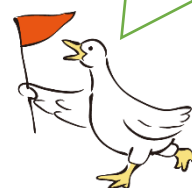
活動の詳細についてはこの通信で随時案内します



## 特定行為研修

5期生の区分別科目の研修をおこなっています。COVID-19の影響で予定を延期した区分もありますが、感染対策を取りながら順調にすすんでおります。今期から新たな区分「ろう孔管理関連（胃ろうの交換）」と「創傷管理関連」の中のNPWTの演習もおこなわれました。

特定行為研修を受けた看護師は、手順書（指示）によって、タイムリーに特定行為を実施することができます



この他にも複数の区分があります。特定行為研修に興味のある方はセンターまでご連絡ください

PICCの挿入



胃ろうの交換



特定行為研修修了者の小谷副看護師長と  
関副看護師長にも講師を担っていただきました



気管カニューレ  
の交換



陰圧閉鎖療法

特定行為研修はeラーニングとスクーリングを合わせて1年半の研修期間があり、フィジカルアセスメントや臨床推論、臨床薬理学を学んだ後、より高度かつ専門的な知識を学び、技術トレーニングを行います。そのため、病態アセスメント能力の向上や患者マネジメント能力の向上に繋がります。明確な根拠や知識が身につくため、部署での指導にも役立ちます。

今後のスケジュールとしては、創傷管理関連の「壊死組織の除去」があります（7月28日～7月31日）。豚バラブロック肉に壊死組織を作り、デブリードマンの演習を行います。著名な先生の講義や企業ハンズオンセミナーもあります。セミナー室で行いますので、興味のある方は見学に来て下さい。

連絡先《看護キャリア開発センター：内線 3276》

オンライン・オープンキャンパスは9月開催予定です  
(実際の講義や演習の様子も見て頂けます)

## 教育連携プログラム

橋本医療圏教育連携活動

主要医療機関の教育担当者（管理者）によるミーティングをおこない、各施設・地域の教育に関する情報共有、教育資源の共有に繋がっています。また、教育担当者を担う人材を育てるために、各施設での研修プログラム立案等のサポートをおこなっています。今年度もコロナの状況をみながらWebを中心に実施していきます。

## 潜在看護師支援



県内在住の潜在看護師さんへの復職支援プログラムをおこないます。自身のキャリア形成について考えたり、技術演習や最新の医療・看護の動向についての講義など、復職を考えるための第一歩をサポートします。今年度も昨年度に引き続きWeb配信します。